

# 平成22年ホヤ類調査結果速報 No. 8

平成22年11月24日

胆振地区水産技術普及指導所

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/hakodate/>】

11月15日に、豊浦町礼文沖において、ホタテガイ付着生物の調査を行いましたので、その結果をお知らせいたします。なお、渡島管内については、函館水試が八雲定期調査を今週実施予定です。また、現在、渡島北部地区水産技術普及指導所が実施しているホタテガイ出荷前調査においても各地区の付着物付着状況を調査中です。

## 結果概要

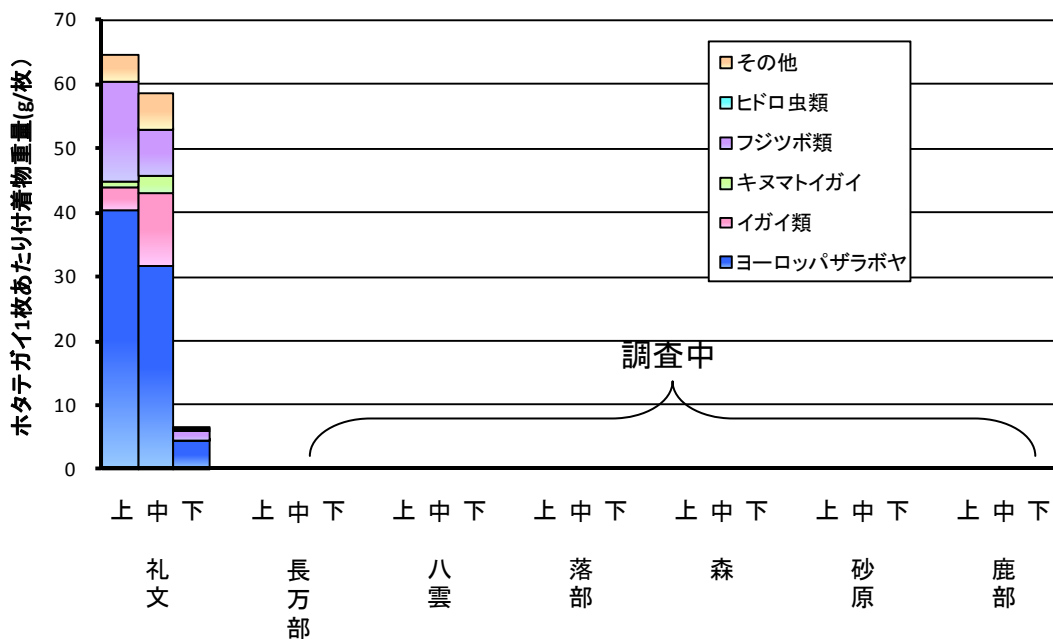
- ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着量が増加しています（P2-図1）。
- 付着している個体のサイズは、15～30mmが半数を占め、50mmを超える個体も見られました（P3-図2）。8月～10月にかけて付着した個体が成長し、個体サイズの大型化が進んでいると考えられます。
- ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生量は大きく減少しました（P3-図3）。浮遊幼生出現のピークは過ぎたと考えられます。
- ヨーロッパザラボヤが大型化し始めていること、及び、浮遊幼生密度のピークは過ぎたと見られることから、貝洗いに適した時期になったと考えられます。
- 養殖漁業の作業行程の関係で、9～10月に貝洗いを行ったホタテガイには、貝洗い後にヨーロッパザラボヤが付着している可能性があるので注意してください。

問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 金森・馬場  
TEL：0138-57-5998 FAX：0138-57-5991

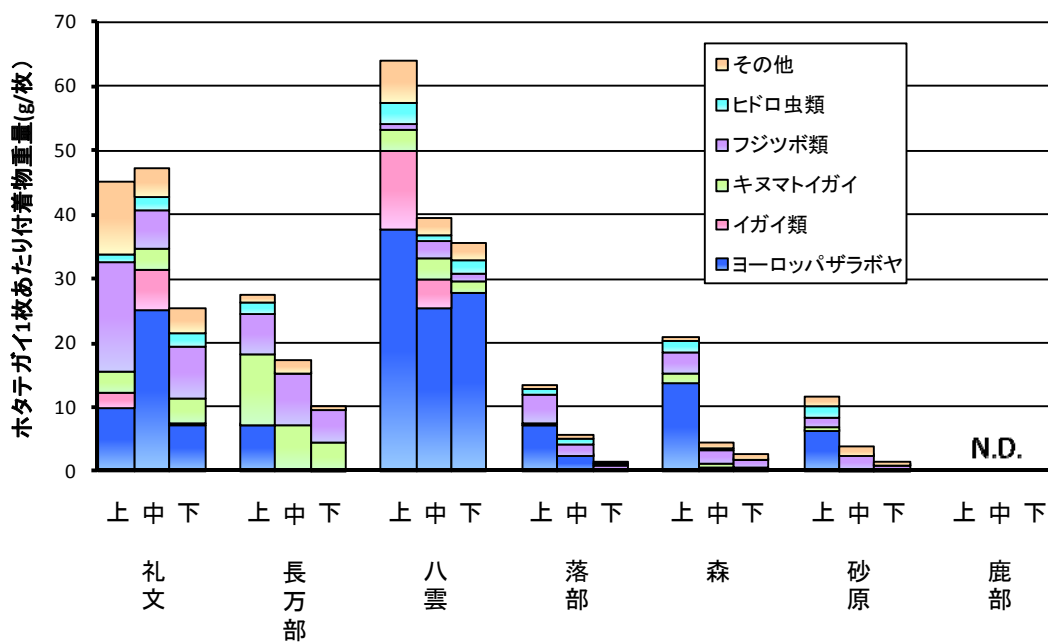
# 1 : 渡島北部、胆振管内調査結果

[調査月日 : 11月15日、調査地区 : 礼文]

図1 各地区の種類別付着物重量(11/15)



先月 (10/12~18) の調査結果 (参考)



※図中の「上中下」は、各連の上層、中層、下層から採取したことを示します。

図2 付着個体のサイズ組成

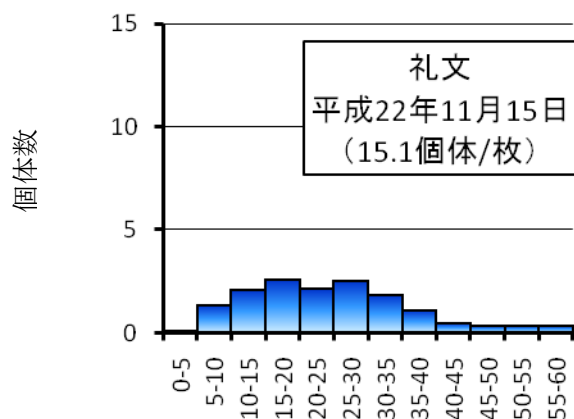
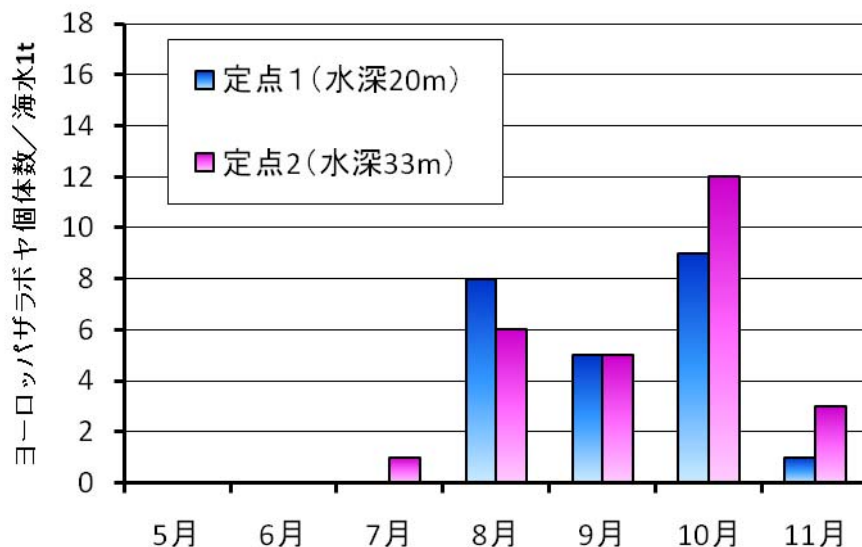


図3 豊浦町礼文華沖合浮遊幼生調査結果(11/15)



まとめ：[礼文地区]

付着物重量の約60%以上をヨーロッパザラボヤが占めています。先月の調査では約20%であり、付着物に占めるヨーロッパザラボヤの割合が大きく増加しています。他の付着生物に比べて、ヨーロッパザラボヤの成長が速く、ホタテガイ上で優占し始めたことを示しています。また、浮遊幼生密度が大きく減少したことから、今後は新たな付着は減少し、現在付着している個体の成長により、付着重量が増加していくと考えられます。ヨーロッパザラボヤの付着状況、出荷予定時期等を総合的に検討して、必要に応じて貝洗いを実施してください。